

【学校教育指導資料】

「特別の教科 道徳」の評価について

北海道教育庁学校教育局義務教育課

学校教育局義務教育課では、各学校における新学習指導要領の趣旨に基づいた道徳教育の充実や道徳科の授業改善の参考にしていただくため、「平成29年度北海道道徳教育推進校事業」の推進校の成果を取りまとめ、本資料を作成しました。校内研修等において活用し、子どもたちの豊かな心を育む取組を推進してください。

〔道徳教育推進校…道教委が指定し、道徳教育の実践研究を行っている学校（各管内の小・中学校各1校（全28校）。）〕

「特別の教科 道徳」の指導に対する保護者の思いや願いを取組の改善・充実に生かしましょう

道徳教育推進校が実施した保護者アンケートでは、道徳科の授業や評価に関わり、次のような思いや願いが寄せられています。

教科になると授業がどのように変わるか見てみたいです。

評価について、子どもにも分かりやすく説明してほしいです。

子どもの道徳性をどのように評価するのか、くわしく知りたいです。



いじめの問題や命の大切さについて、低学年のうちから取り上げてほしいです。

多様な考えを出し合い、お互いに認め合える授業にしてほしいです。

学校と家庭が協力して、子どもたちの心を育てていきたいです。

各学校においても、授業公開や保護者会等を通じて、日常の道徳教育や道徳科の授業について積極的に情報提供するとともに、保護者の思いや願いを評価の改善・充実に向けた取組に生かすことが重要です。

特に、新しく導入された道徳科の評価については、学校としての考え方や進め方について丁寧に説明し、理解を図ることが大切です。

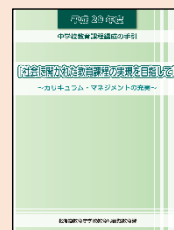
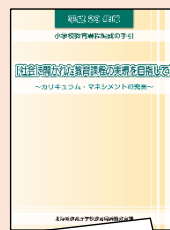
学校全体が道徳科の評価について共通理解を深め、日常の実践に生かしましょう

各学校では、道徳科の評価について、全ての教職員が共通理解を深めることが大切です。

【評価の基本的な考え方】

道徳科の評価については、小・中学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」において、基本的な考え方として次の点が示されています。

- ・道徳性の諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える**観点別評価を通じて見取ろうとすることは妥当ではないこと**
- ・個々の内容項目ごとではなく、**大きくりなまとまりを踏まえた評価とすること**
- ・他の子どもとの比較による評価ではなく、**子どもがいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと**
- ・道徳科の**学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、子どもの学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握すること**
- ・道徳科の評価は、選抜に当たり客観性・公平性が求められる入学者選抜とはなじまないものであり、**道徳科の評価は調査書には記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにする必要があること**



道徳科の評価については、平成29年度小（中）学校教育課程編成の手引 P19・20「Topics『I 道徳教育の推進』」（道教委）にくわしく掲載しています。（<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kk/tebiki/29syoutpoutoku.pdf>）

道徳教育推進校の「評価」に関する取組事例を紹介します

道徳教育推進校では、道徳科の授業や評価の改善・充実に向けて、組織的な校内研修が行われています。義務教育課Webページに、次の学校の取組事例を掲載していますので、自校の取組の参考にしてください。

また、管内の道徳教育推進校の公開研究会に積極的に参加するなど、地域の実態に応じた実践事例を共有することも効果的です。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kyouikukatei/page.htm>

網走市立白鳥台小学校

学習指導過程に応じた評価内容や評価方法の共通理解、児童の記述内容を教師の見取りや所見の記述に生かす取組



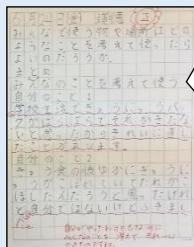
学習指導過程における言語活動の充実を図り、児童の学習活動に着目して成長の様子を見取っています。

校内研修で、児童の具体的な記述内容を取り上げ、ワークシートを活用した評価の在り方を明らかにします。

めいめい思う人が少なくなってきた、きまりをわびる人が少なくなってきた、めいめい思う人はいるからきまりはあつた方がいい。

旭川市立東五条小学校

自己評価シートや道徳ノートの評価方法、授業における書く活動の視点について共通理解を図る取組



道徳科や特別活動等において、キャリアノートを活用し、児童が自分の学習状況を振り返り、自らの変容を自覚できるようにします。

児童が自分のよい点に気付いたり、主体的に学ぶ意欲を高めたりすることができるよう、道徳アンケートを活用した自己評価の充実を図ります。

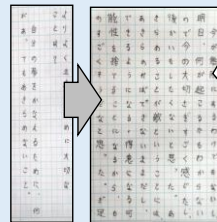


乙部町立乙部小学校

校内研修において、評価の視点や具体的な所見の記述内容について共通理解を図る取組



多面的・多角的に考えを深めることができるよう、学習指導過程にペアやグループで意見を交流する活動を計画的に位置付けています。



道徳科の1単位時間の記述内容を評価するだけでなく、年間や学期を通じた成長の様子を見取ります。

「考え、議論する道徳」の実現に向けた校内研修を推進しましょう

各学校において、子どもの発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」の実現に向けた校内研修の充実を図るために、次の資料を参照してください。

校内研修で、授業づくりの参考となる映像資料を視聴したい。

道徳教育アーカイブ (文部科学省)

「考え、議論する道徳」の実現に向けた工夫がなされている授業映像、指導案、いじめ問題に関する授業実践例を紹介しています。

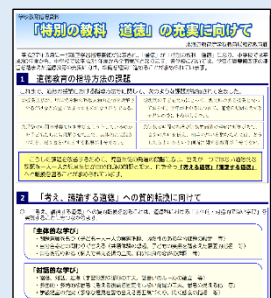
<https://doutoku.mext.go.jp>



校内研修で、道徳科の全面実施に向けた授業改善のポイントの共通理解を深めたい。

「特別の教科 道徳」の充実に向けて (道教委)

学校の実態に応じて活用できるように、これまでの指導方法の課題、「考え、議論する道徳」のポイント、小・中学校の1単位時間の展開例を示しています。



<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/doutoku/siryou-h28.pdf>